



2022年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年8月11日

上場会社名 日本プリメックス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2795 URL <https://www.primex.co.jp>
 代表者 (役職名)代表取締役会長兼社長 (氏名)中川 善司
 問合せ先責任者 (役職名)取締役管理本部長 (氏名)真岡 厚史 (TEL)03(3750)1234
 四半期報告書提出予定日 2021年8月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第1四半期の連結業績(2021年4月1日～2021年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第1四半期	1,301	13.9	79	105.5	90	148.1	49	219.9
2021年3月期第1四半期	1,142	△28.9	38	△73.8	36	△66.5	15	△75.4

(注) 包括利益 2022年3月期第1四半期 44百万円 (127.7%) 2021年3月期第1四半期 34百万円 (△18.3%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
2022年3月期第1四半期	9	32	—	—
2021年3月期第1四半期	2	91	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円	銭	
2022年3月期第1四半期	8,150		6,153		75.5	1,169	19	
2021年3月期	8,135		6,204		76.3	1,178	87	

(参考) 自己資本 2022年3月期第1四半期 6,153百万円 2021年3月期 6,204百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
2021年3月期	—	0	00	—	20	00
2022年3月期	—	—	—	—	—	—
2022年3月期(予想)	—	0	00	—	20	00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	5,620	8.3	400	27.8	438	14.4	311	30.1	59	09

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 — 社(社名) 、除外 — 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2022年3月期1Q	5,523,592株	2021年3月期	5,523,592株
2022年3月期1Q	260,802株	2021年3月期	260,802株
2022年3月期1Q	5,262,790株	2021年3月期1Q	5,262,790株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注記事項等については、決算短信(添付資料)「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間の国内の販売状況につきましては、新型コロナウイルス感染症に伴う非接触の自動精算機向け需要及び医療機器向け需要も有り着実に回復傾向となりましたが、期末に向けて半導体不足の影響から主力であるミニプリンタ製品の他、PC、ディスプレイ製品などにも品不足が顕在化してきており、入荷待ちの状況となっております。これに対し自社製ミニプリンタにつきましては、フレキシブルな部品の調達等の工夫により、受注への対応を行っております。

一方、海外の販売状況につきましては、一部の国では未だ新型コロナウイルス感染症の影響から顧客の動きが鈍く、受注は回復しておりませんが、ガソリンスタンド用精算機、ATM、自動販売機といった非接触機器向けの需要は伸びていることから、昨年同期を上回る結果となりました。

この結果、売上高は13億1百万円(前年同四半期は11億42百万円)となり、前年同四半期と比較し13.9%の増収となりました。

なお、商品群別業績は次のとおりであります。

当第1四半期連結累計期間における商品群別売上高は、ミニプリンタメカニズムは37百万円(前年同四半期と比べ11百万円(43.7%)の増加)、ケース入りミニプリンタは7億61百万円(前年同四半期と比べ1億42百万円(23.1%)の増加)、ミニプリンタ関連商品は1億65百万円(前年同四半期と比べ14百万円(9.4%)の増加)、消耗品は1億9百万円(前年同四半期と比べ6百万円(6.1%)の増加)、大型プリンタは22百万円(前年同四半期と比べ1百万円(6.9%)の増加)、その他は2億4百万円(前年同四半期と比べ17百万円(7.7%)の減少)となりました。

売上総利益は3億64百万円となり、前年同四半期と比べ54百万円(17.4%)の増加となりました。

販売費及び一般管理費は、2億85百万円となり、前年同四半期と比べ13百万円(4.8%)の増加となりました。

営業利益は79百万円となり、前年同四半期と比べ40百万円(105.5%)の増加となりました。

経常利益は90百万円となり、前年同四半期と比べ53百万円(148.1%)の増加となりました。

税金等調整前四半期純利益は90百万円となり、前年同四半期と比べ53百万円(148.2%)の増加となりました。

税効果会計適用後の法人税等負担額は41百万円となり、前年同四半期と比べ20百万円(95.9%)の増加となりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間における親会社株主に帰属する四半期純利益は49百万円となり、前年同四半期と比べ33百万円(219.9%)の増加となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

流動資産は、前連結会計年度末に比べ46百万円(0.8%)減少し、60億53百万円となりました。主な内訳は、現金及び預金の減少26百万円、受取手形、売掛金及び契約資産の減少40百万円、原材料及び貯蔵品の増加45百万円となっております。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ61百万円(3.0%)増加し、20億97百万円となりました。これは主として、有形固定資産の増加16百万円、投資有価証券の増加42百万円によるものであります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べ14百万円(0.2%)増加し、81億50百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ68百万円(4.6%)増加し、15億64百万円となりました。これは主として、支払手形及び買掛金が前連結会計年度末に比べ9百万円減少、賞与引当金が35百万円減少、その他が1億10百万円増加したことによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ2百万円(0.6%)減少し、4億32百万円となりました。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べ65百万円(3.4%)増加し、19億97百万円となりました。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ50百万円(0.8%)減少し、61億53百万円となりました。主な内訳は剰余金の配当1億5百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益49百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当事業年度の連結業績予想につきましては、2021年3月期決算短信（2021年5月13日開示）により公表いたしました通期の数値に変更はありませんが、今後の進捗を精査した結果、業績予想に変更が生ずると判断した場合には速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,296,215	4,270,117
受取手形及び売掛金	1,301,717	-
受取手形、売掛金及び契約資産	-	1,260,926
商品及び製品	321,193	308,927
原材料及び貯蔵品	166,740	211,995
その他	14,687	1,416
貸倒引当金	△1,302	△252
流動資産合計	6,099,252	6,053,131
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	219,485	218,826
機械装置及び運搬具（純額）	9,807	10,006
工具、器具及び備品（純額）	28,290	33,014
土地	956,574	963,918
リース資産（純額）	105,931	110,772
有形固定資産合計	1,320,089	1,336,537
無形固定資産		
その他	25,455	24,509
無形固定資産合計	25,455	24,509
投資その他の資産		
投資有価証券	563,632	606,607
繰延税金資産	113,707	116,285
その他	19,536	19,566
貸倒引当金	△5,746	△5,771
投資その他の資産合計	691,129	736,688
固定資産合計	2,036,675	2,097,735
資産合計	8,135,927	8,150,866

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,291,208	1,281,794
未払法人税等	41,454	44,765
賞与引当金	47,912	12,280
その他	115,907	225,944
流動負債合計	1,496,482	1,564,785
固定負債		
役員退職慰労引当金	175,319	164,257
退職給付に係る負債	229,957	234,227
その他	30,002	34,401
固定負債合計	435,278	432,885
負債合計	1,931,761	1,997,670
純資産の部		
株主資本		
資本金	393,997	393,997
資本剰余金	283,095	283,095
利益剰余金	5,679,578	5,633,187
自己株式	△158,900	△158,900
株主資本合計	6,197,771	6,151,380
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,394	1,814
その他の包括利益累計額合計	6,394	1,814
純資産合計	6,204,165	6,153,195
負債純資産合計	8,135,927	8,150,866

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日)
売上高	1,142,574	1,301,777
売上原価	831,761	936,888
売上総利益	310,813	364,889
販売費及び一般管理費	271,949	285,036
営業利益	38,863	79,853
営業外収益		
受取利息	809	93
受取配当金	10,748	8,670
その他	948	2,185
営業外収益合計	12,506	10,950
営業外費用		
支払利息	465	512
為替差損	14,509	-
その他	10	5
営業外費用合計	14,984	518
経常利益	36,384	90,285
特別損失		
固定資産除却損	26	58
特別損失合計	26	58
税金等調整前四半期純利益	36,358	90,227
法人税、住民税及び事業税	28,757	41,761
法人税等調整額	△7,725	△556
法人税等合計	21,031	41,204
四半期純利益	15,326	49,023
親会社株主に帰属する四半期純利益	15,326	49,023

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)
四半期純利益	15,326	49,023
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	19,490	△4,579
その他の包括利益合計	19,490	△4,579
四半期包括利益	34,816	44,443
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	34,816	44,443
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下、「収益認識会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。

これにより一部の取引については従来顧客から受け取る対価の総額を収益として認識していましたが、顧客への財又はサービスの提供における当社グループの役割が代理人に該当する取引については、顧客から受け取る額から仕入先に支払う額を控除した純額で収益を認識するようにしました。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、当第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高及び売上原価が15,659千円それぞれ減少しておりますが、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響はありません。また、利益剰余金の当期首残高に与える影響はありません。

収益認識会計基準等を適用したため、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動資産」に表示していた「受取手形及び売掛金」は、当第1四半期連結会計期間より「受取手形、売掛金及び契約資産」に含めて表示することとしました。なお、収益認識会計基準第89-2項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度について新たな表示方法による組替えを行っておりません。さらに、「四半期財務諸表に関する会計基準」

(企業会計基準第12号 2020年3月31日)第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第1四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載しておりません。

(時価の算定に関する会計基準の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

該当事項はありません。